



書記長集約

①長崎支社にダイヤ改正の要求を42項目出し交渉を行った。社長会見で見直しを示唆したが長崎地区においての見直しは一切ないと明言している。②組織対策では1月16日(17日)で一泊で会議を開催して拡大に向け意思統一を行った。拡大に向けに全力を挙げた。



国労九州

復第 82-2号

福岡市博多駅東 3丁目9番3号 ニッコーハイヴ 1003 092-483-1515 発責 眞子俊久 編責 岩元孝信

・組織拡大に全力をあげよう!

・大胆に国労加入を訴えよう!

・各機関で対策会議を開催しよう!

・組織拡大の統一行動を展開しよう!

①18春闘と労働条件改善の取り組みについて

18春闘では、貧困と格差社会の拡大の諸課題と大幅賃上げ獲得、労働条件の改善など諸要求を結合し職場・地域から全力で闘い抜く必要がある。その為にも再度全組合員で日常的な他労組を巻き込んだ分会活動を確立し職場実態を明らかにする中で要求を確立し、何としても賃上げを勝ち取らなければならない。2月13日に賃上げの春闘要求と労働条件改善要求「闘争申1号」そして、夏季手当3ヵ月「申9号」を会社に申し入れを行うようにしている。その交渉の後押しとして、他労組組合員を含めた労働条件改善要求署名の取り組みも重要となってくる。高齢者55歳での減額についても引き続き廃止を強く求めて行く必要がある。②合理化反対、安全輸送の確立について

3月のダイヤ改正にお

て「ぎりしま」の4両特急ワンマン化をはじめとして大分地区での「SSS」による駅無人化、新幹線ホーム要員の廃止、JR九州旅行支店の大幅縮小など過去に例をみない140人を超える合理化提案となつている。国労は昨年実施した「にちりん号」の検証も出来ていない中で拡大実施には反対である。大分地区での無人化については特急停車駅や乗降人員が2000名を超える駅もあるなど、安全性や利便性より合理化であることは明白であり、この問題についても利用者、地域の仲間と連携することも重要となってくる。ダイヤ改正では、九州全体の自治体からも大きな反対の声が上がってきている。今後、若干の見直しも示唆されているが、国労九州本部としても鉄道の公共性、利用者、地域の声も大事にして何としても鉄道の維持について訴えていかなければならない。昨日、街宣ビラ配布行動を行ったが各地区本部にお

いても九州本部のビラや各地区本部の実態に合わせたビラ等を作成し駅頭宣伝行動などを強化し地域に訴えることを要請する。

③組織拡大と職場活動について

この間の議論でも明らかのように全機関で克服すべき最大の課題であり国労運動の最重要課題でいうことは言うまでもない。問題点を総括し具体的に何を実践していくのかを繰り返し議論していく必要がある。具体的に職場の問題点や組織拡大の取組みの意思統一を行い、拡大行動を展開していくことが重要である。国労組織の現状を考えたときこれまでの運動、活動を総括し何をすべきか一歩前にでた行動をお願いしたい。今が国労運動の正念場であり、九州本部も先頭に立ち闘う決意である。④平和と民主主義を守る闘いについて

安倍首相が進める「憲法改正」では憲法9条に自衛隊を明記し「戦争ができる国」に

Advertisement for Affac cancer insurance. It features a cartoon duck character and text promoting 'Survive for Days' cancer insurance. The text includes contact information for Affac and Abenil Co., Ltd.